

おおがわら

議会だより



第150号

平成31年2月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



- 議案審議(11・12月議会)・・・②③④
- 全員協議会・・・・・・・・・・・・⑤
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・⑥⑦
- 町政への提言・・・・・・・・・・・・⑧
- 小学生議会傍聴・・・・・・・・・・・・⑳㉑
- その後どうなったあの提言・・・・・・㉓

1月8日
初登校

金ヶ瀬小学校 関連記事 P24

一目千本桜 ブランド化事業

12月
議会

事業の全部が国庫補助金対象となったもの

事業区分	事業内容	事業額
観光復興促進調査事業	インバウンド通行量・動向調査、 観光戦略調査等	400万円
地域取組体制構築事業	インバウンド啓発講演会開催 観光ボランティア養成講座	200万円 100万円
プロモーション強化事業	多言語情報誌制作 ドローン動画制作 プロモーションビデオ制作 タイ国プロモーション タイ人ユーザー招致による海外発信	325万円 150万円 250万円 400万円 150万円
滞在コンテンツ充実・ 強化事業	夜景観賞事業(冬のイルミネーション開催) 和文化体験プログラム開発、モニターツアー等 お土産品・商品開発 夜景観賞と食巡りモニターツアー開催	380万円 250万円 100万円 170万円

国庫補助金が減額され、町がカバー又は町が負担しないもの

事業区分	事業内容	事業額
受入環境整備事業	ホームページ多言語化及び リニューアル	国875万円 町390万円
	観光ルームインバウンド整備	国200万円 町390万円
	一目千本桜案内板等サイン整備	国100万円 町負担なし



子どもたちの声(中学生未来会議)が、冬の夜桜に花を咲かせた

学校にエアコン設置へ 補正予算(設計費)を可決

11月
議会

▼一般会計補正予算

今年度中にエアコンの設置方針を決定する自治体に対し、国は補正予算を組むこととなり、補助金が確保されることが判明した。このことから、町当局は関連予算「小中学校空調設備整備事業実施設計業務委託料1670万円」の補正予算案を11月会議に上程し、議会はこれを全会一致で可決した。議会でも、児童生徒の苦境が話題となり、学校の教室にエアコン設置の要望が増加していた。

質疑

万波 孝子 9月議会で整備費の約30%が交付税措置と答弁していたが、今回新設された交付金でも、その割合は変わらないのか。

高橋 芳男 体育館も補助対象になると思うが、将来的にはどのように考えているのか。

町長 冷風扇等を実際に使用した上で、その効果や状況に応じて今後判断する。

教育総務課長 30%という算定は、今回も変わらない。

万波 孝子 業者はどのような基準で選定されるのか。

教育総務課長 体育館については、当初から考えていない。しかし、集会等が行われるので、冷風扇や大型扇風機を配備する。

岡崎 隆 エアコンを導入した場合、町の支出が今後1年間でどのくらい増えると考えているのか。

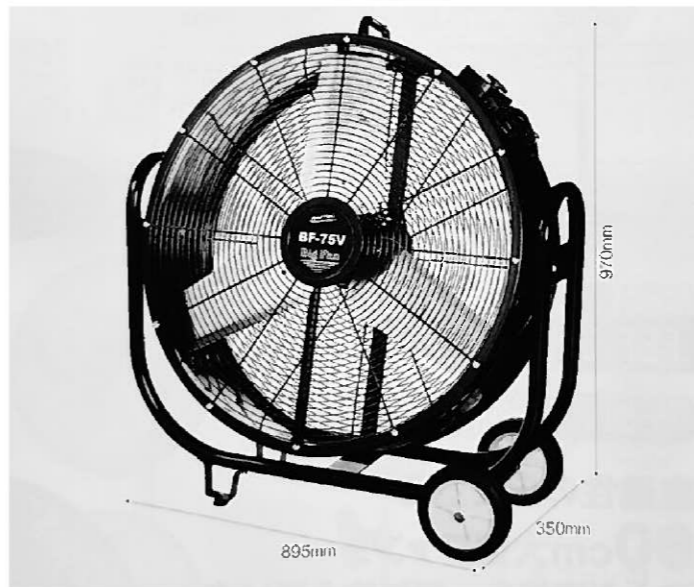
企画財政課長 今後、実施設計が進む中で、コストの積算もできる。現在は、まだ詳細を把握できていない。

堀江 一男 県内が一斉にエアコン設置に向かっている。

教育総務課長 一般競争入札を基本に選定を行う。

町長 エアコンを導入した場合、町の支出が今後1年間でどのくらい増えると考えているのか。

企画財政課長 今後、実施設計が進む中で、コストの積算もできる。現在は、まだ詳細を把握できていない。



体育館は大型扇風機で対応

近隣自治体は？

蔵王町

来年度夏を目安に、町内の小・中学校と幼稚園すべてにエアコンを設置

川崎町

既に工事業者との契約を完了

柴田町

実施設計、工事関連の予算を議決

議員全員をもって構成する会議で、議員定数の半数以上の議員が出席しないと会議を開くことはできません。

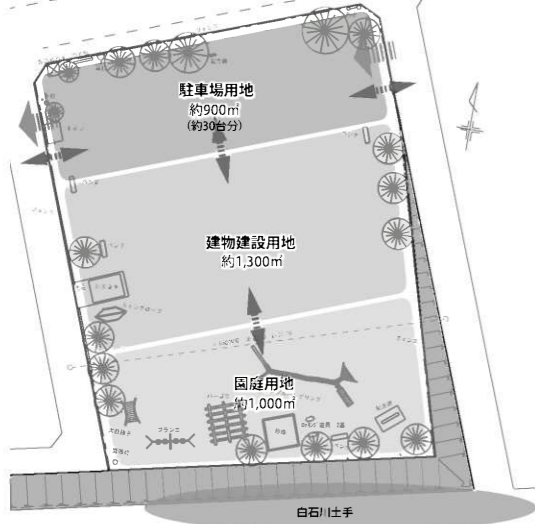
- ①町長等からの申し出があり必要と認めた事項
- ②議案の審議に関する事項
- ③そのほか特に必要と認めた事項

について議員同士の自由な意見を聴取するもので結論は導きません。

(大河原町議会全員協議会規程)

全員協議会

配置方針図(案)



待ち望まれる新保育所

◆**桜保育所整備基本計画の進捗について(子ども家庭課)**
 昨年6月6日の全員協議会(以下、全協)に続き、以下の現状報告を受けた。
 ①保育所整備基本方針の検討状況
 ②桜町地区説明会(12月15日 南桜集会所)
 ③都市計画変更の進捗
 ④事業費概算
 竣工(昭和50年4月)から43年が経過し老朽化した桜保育所は、南桜公園に移転し、保育所跡地を公園として整備する。
 今回の全協では、堤防より高い場所に避難できるように2階建ての建物とし、住民の避難も想定し、屋上避難もできる構造とする説明がなされた。
 【基本的スケジュール】
 ◇平成30年度 整備基本計画の策定
 ◇平成31年度 建設に向けた実施設計
 ◇平成32年度 建設工事
 ◇平成33年4月 開所予定

◆**防災マップ作成について(総務課)**
 白石川・荒川の洪水浸水想定区域の指定がなされた。
 (記載内容)
 ①洪水浸水想定地域
 ②内水浸水想定地域
 ③土砂災害警戒区域
 ④指定緊急避難場所
 ⑤指定避難所
 ⑥AED設置箇所
 ⑦大字・小字・目標物
 【防災マップの規格】
 A1見開きサイズで、携帯しやすいピラミッド折り形式。

◆**町公施設の敷地内禁煙について(総務課)**
 本町においては、10年に亘り安全衛生委員会により禁煙について協議されてきた。
 ◆**岡崎 新園舎は屋上への避難が可能になっていくと、桜町全戸に周知する考えは。子ども家庭課長**
 説明会でお知らせする。
 詳細が判明すれば、その段階で全戸への周知も検討する。

質疑

現場取材



期待が膨らむ説明会(南桜集会所)

12月15日に開催された桜町地区説明会には、町長はじめ4名の職員と28名の町民が参加した。
 質疑応答において、近隣住民から反対意見はなく、質問や要望は以下の通りとなっている。
 ●1000年に一度の災害に対する対策。
 ●避難時の誘導方法や、建物への収容人数。
 ●施設周辺の外灯設置や交通安全対策。
 ●実施設計前に、保育士や現場の声を聞いてほしい。
 ●保育所跡地の公園整備の際、近隣住民のプライバシー保護を。

補正予算可決

12月議会

議案11件 同意1件 報告1件 承認1件



攻めに転じたい大河原の農業

◆**大河原町農業振興地域整備促進協議会条例改正**
 主な改正内容
 一、文言の追加
 農業振興対策を総合的かつ計画的に進める一、名称の変更
 大河原町農業振興促進協議会
 平成28年4月1日に施行された「大河原町農業再生化会議」の任務(農業のブランド化、創造的な攻めの農業、農業における福祉振興、農家と非農家との連携、農村風景改善など、未来の大河原町の農業の在り方の検討)を、大河原町農業振興地域整備促進協議会に継承するための条例改正を行った。
 大河原町農業再生化会議は廃止する。

◆**選挙管理委員選挙**
 平成30年12月25日任期満了に伴い、選挙が行われ、次の者が委員に選出された。
 太田 良喜氏
 目黒 星子氏
 佐藤 幸栄氏
 櫻井美砂子氏
 ◆**固定資産評価審査委員会委員の選任**
 佐藤 好彦氏
 大河原町固定資産評価審査委員会委員の選任(再任)について、全会一致で同意された。

◆**その他の議案**
 ■大河原町名誉町民条例の一部改正
 ■職員の給与に関する条例の一部改正
 ■大河原町町税条例の一部改正
 ■大河原町少人数学級編成の実施に係る任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

改正
 ■仙南地域広域行政事務組合規約の変更
 ■平成30年度大河原町後期高齢者医療特別会計補正予算
 ■平成30年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算
 ■平成30年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算
 ■平成30年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算
 ■平成30年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算



町独自の少人数学級

◆**その他の主な補正予算**
 歳入
 民生費国庫負担金 2127万円
 東北観光復興対策交付金 ▲1496万円
 公共下水道事業特別会計繰入金
 1410万円
 繰越金 2866万円
 歳出
 保育所地域型保育給付費 1214万円
 保育所施設型給付費 1510万円
 公共下水道事業特別会計繰出金 1825万円

議会 報告会

避難所・防災

要望 防災訓練をして
いるが、車を保料集会
所に停められない。公
園の砂場のところにつ
くってほしい。

要望 最近洪水が多く
て心配。保料区の避難
場所が大河原商業高校
だが、高齢者には遠い
ので、世代交流センタ
ーを2階建てにして避
難所にしてほしい。

質問 東日本大震災時
に、避難時に指定され
ている柴農に寝たきり
の人を担架で運んで連
れて行ったら断られ
た。どうなっているの
か。

質問 水害で1〜5m

11月8日(木)・9日(金)の2日間、3班編成で6会場にて実施。
みなさまの声を集約して町長へ提出しました。
解決には時間を要するものや、予算が必要なものと様々ありま
すが、優先度が高いと思われることなどについては議会として委
員会や、各議員の一般質問を通して働きかけを強めてまいります。

の浸水になった時の避
難所が川東にはある
が、川西にはない。ど
うしたらいいか。

要望 仮に、白石川が
氾濫した時には、防災・
減災のために必要とな
る防災士の育成に積極
的に取り組んでほし
い。議員にもなってほ
しい。

要望 上川原地区のハ
ザードマップを作っ
てほしい。

要望 学校の防災訓練
時には、地区住民も一
緒に参加させてほしい。

意見 末広区、保料区
ともに高齢化が進み、

行政区

区長や民生員のなり手
がない。民生員は役
場の仕事までさせられ
る。また、区長は充て
職が多く忙しい。

意見 子ども会も育成
会もなく、地域で
子どもたちとの交流が
なくなってしまう。

質問 行政区毎の担当
職員は誰なのか。

防犯

要望 不審者が最近多
いので、中島公園付近
に防犯カメラを設置し
てほしい。

意見 本町の障害者雇

障がい者雇用

率は1・63%と低い。
募集を見ると上級職と
なっているがなぜか。
他自治体では上級職だ
けでなく初級、単労働
での採用となっている。
障害者雇用に対する
認識が甘い。自治体
が模範になるべきでは
ないか。

要望 デマンドタクシ
ーを近隣の市町にまで
伸ばしてほしい。

意見 予約はいいが、
帰る時に困っている。

意見 さくら作業所
は、運行を1時間間隔
にした結果、不便にな
ったと議会だよりに載

デマンドタクシー

要望 丸森町で甲状腺
検査したが癌が2名い
た。現在、放射能ゴミ
の試験焼却をしている
が、健康被害が心配。
甲状腺検査を実施する

仙南クリーンセンター

意見 デマンドタクシ
ーではなくタクシー割
引券等の援助はできな
いのか。

とともに、試験焼却を
ストップしてほしい。

**仙南夜間初期
急患センター**

質問 仙南夜間初期急
患センターの利用状況
は。

桜保育所 移転

質問 子ども家庭課、
地域整備課のどちらが
主体になっているのか。

金ヶ瀬揚配水場

意見 初めは事務棟に
水道課が来ると聞いた。
実際何のために作った
のか。無駄では。

要望 会議室を借用で
きるか等、利活用方を
考えるべき。

納税組合

質問 納税組合は今も
続いているのか。

学校給食

質問 仙台市の給食で
栄養不足と報道があつ
たが、大河原町は大き
夫か。

質問 給食費の未納は
あるのか。

教育

要望 大小、大中に不登
校の児童生徒はいるの
か。学校と教育委員会
だけでは心配である。
チェック機能がほしい。

柴農・大商統合

質問 柴農と大商の統
合計画の進捗状況は。
要望 柴農の体育館側
の町道は狭いので、統
合を機に安全を優先し

た4mの拡幅をしてほ
しい。

大河原公園

意見 大河原公園近く
の土手にあるトイレの
登り口に、10年前から
土のうが土まみれで置
いたままになっている。

要望 大河原公園の金
網フェンスが破損して
いる箇所がある。改修
すべき。

道路

質問 舗装工事では幹
線道路は削るが、それ
以外の道路は嵩上げ工
事となっている。何cm
になったら削るのか。
工事後のチェックはさ
れているのか。

桜まつり・桜樹保護

要望 桜まつりの時に、
駅前が食べ物屋もなく
て寂しい。外国人が多
くなってきたているの
で、英語等を話せるボ
ランティアがほしい。

質問 桜の木の手入れ
はどの課の担当か。

意見 桜は一時的。年
間通じて活用する組織
が必要では。観光資源
が少ないのだから、何
をやるべきかを考える
べき。

梅の販売促進

要望 梅は一括購入し
て加工・販売する方が
良い。観光協会では人
数的に無理。新たな組
織を作るべき。

観光

意見 柴田町の柚子の
あせ道、古民家を改修
して宿泊や食事、ミニ
コンサートもできると
ころに行つた。運営は
町主導でやっているよ
うだ。柴田町は花のま
ちとして、花見にもす
ごく力を入れて取り組
んでいる。大河原町に
はないような気がす
る。村田町もいろんな
イベントをやっている。
仙南の中心なので、音
楽や文化などに焦点を
当てる必要がある。

※意見・要望に対する回答は、
後日議会ホームページに掲載します。



学校統合(2023年4月開校予定)を機に拡幅を



中学生も受診できるようになりました

視聴覚室の備品整備を

機器等、整備調整を行う



堀江 一男

堀江 大河原町にぎわい交流施設が完成した。この施設は元々中央公民館であり、国の補助を受けて

観光物産や地域産業の振興を進める施設との併設施設として改修された。だが、公民館側と観光物産等側の設備



多機能化が求められる

堀江 視聴覚室には、備品が十分に整っていない。どのように考えているのか。

町長 リニューアル前は、建物2階に

町長 視聴覚室の録音としてどのように捉えているのか。
観光物産協会管理の備品については、交付金で備品を整備する予定だったが、交付金対象外となったため町単独で備品を配置した。公民館の備品は、使用できるものはそのまま使い、使用不可備品についてはリニューアルに伴い新しく購入した。

堀江 建物の中はガラス張りが多く、カーテンがほとんどない。利用者からも苦情が出ていますと聞いています。どのように対応しているのか。

は、建物2階に

町長 リニューアル後、視聴覚室の録音等の音響設置が遅れていたが、現在、これまでに使っていた機器が使用できるようセッティングした。

なお、視聴覚室としての機能向上を図り、機器等の使い勝手が更に良くなるよう整備と調整を考えている。

は窓が無く常時暗い状態だったが、リニューアル工事では窓を設置したことで、各室内が明るい状態で使用していた。しかし、建物南側と西側の窓は、時間帯によっては、直射日光が射し使用に不具合が生じる場合があることから、利用者からカーテン等を設置してほしいとの要望が多数寄せられている。利用者の満足度の向上を図ることが重要と考え、本会議での補正予算を計上したところである。

堀江 一男 P 9
●大河原町にぎわい交流施設について

岡崎 隆 P 10
●町内イベントを通じた更なる産業振興の充実を図るべき

万波 孝子 P 11
●女川原発再稼働の動きを受けて
●消費税10%の影響について
●学校給食の現状について

伊勢 敏 P 12
●事実を直視し、放射能汚染廃棄物焼却の中止を
●町有地の有効活用

高橋 芳男 P 13
●不育症の周知や患者支援の推進について
●乳幼児健診における小児がんの早期発見について
※消費者教育の拡充について
●介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供する場合の取り扱いについて

枘 和也 P 14
●大河原駅を拠点としたレンタサイクル立ち上げについて

大沼 忠弘 P 15
●認識、認知力アップによる安全・安心・利便性等の向上について
※ふるさと納税の返礼品について

丸山 勝利 P 16
●救命講習について

高橋 豊 P 17
●地域おこし協力隊について
●小学校プログラミング教育について

佐久間克明 P 18
●大河原公園の今後をどう考えているのか
●観光物産協会の更なる活性化へ向けて

秋山 昇 P 19
●学校給食について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。
(www.town.ogawara.miyagi.jp)



初めての議会傍聴(詳細はP20・21)

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回11人の議員が行った。

町政への提言 Q & A

一般質問

AI・IoT

イベントで活用すべき

講習会を開催し、受講者を増やす



岡崎 隆

総務課長 想定していない。
町長 AI・IoTの活用は自治体の9割が関心はあるが、財源や専門性の課題等により行動に移せていないのが現状。財源の課題もあり、当町も同じ現状である。

当町の3大イベント（桜まつり、おおがわら夏まつり、オータムフェスティバル）のなかでも一大イベントは桜まつりである。

毎年、約3週間にわたる長丁場で、例年20数万人の入込客数であると発表されている。

桜が見頃となり、観光客でこった返す約1週間の間の危機管理には依然として課題があり、様々なA-1やI-O

Tを駆使して観光客の安全確保や更なる産業振興につながる取り組みを行う自治体が増えている。当町のイベントに関わる根本的な姿勢に改善が見られていないと考えるので、以下質問する。

岡崎 桜まつりでは、商工会への依存度が高すぎるのではないかと。町内小規模事業者への相談など、本来の業務に支障が出ては

本末転倒であり、町担当課が年度替わりを言い訳にせず、主体的に関わることでできる体制整備は早急に取り組むべきである。

町長 時期は明らかにできないが、近く体制整備の検討は考えている。

岡崎 前述の問に関連し、満開の時期でも本部の危機管理体制は大変脆弱な人員配置となっている。あの

震災が1か月遅かったらと考えただけでぞつとすると、帰宅困難者への対応など、リスクマネジメントは課題が多くあるのではないかと。

町長 発災時には、公共交通機関の運休も見込まれる。外国人や多くの帰宅困難者を指定避難所、福祉避難所で受け入れる。

岡崎 帰宅困難者の見込み数は。

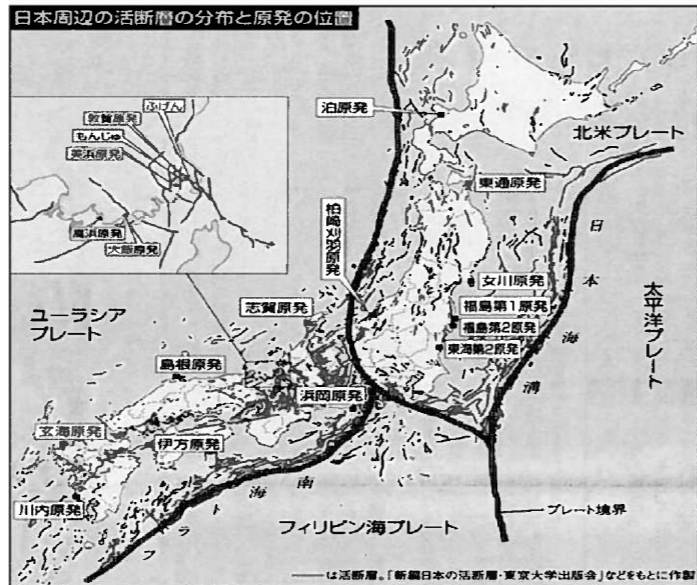


正確な観光客層の把握を

電源確保は国が考える

再稼働をどう考える

女川原発



幸い、難を逃れた女川原発(3.11東日本大震災)

万波 河北新報は、村井県政の運営に関するアンケートの中で、県内35市町村の首長に女川原発再稼働の

可否について考えを聞いた。町長の回答は。個別の意見を出さないことを条件に回答したので、控



万波 孝子

えさせていただく。原油価格の高騰や原油確保といった国際問題など複雑でどのようにして安定した電源確保をするかが課題となっており、その答えを出すことは国に求められていると考える。

万波 「女川原発再稼働の是非はみんなで決めよう」との行動について町長はどう考えるか。

町長 参政権の一部であり、住民の基本的権利であると認識している。運動は民主主義に則っているものと考えている。

万波 福島原発事故は大量の放射性物質が放出される等、人類と共存できないことを証明した。今こそ原発から脱却し、再生可能エネルギーに転換していくべきではないか。

町長 一つの電源に依存するのはなく、様々な発電方法を組み合わせ、地球環境に配慮した電源構成となる必要があると考える。

るだけ。商工団体は「複税率」に反対している。増税中止の声を国に挙げていくべき。

町長 増税反対の世論があることは十分理解するが、国の財政等を考えれば増税の必要性はあるので、申し入れは考えていない。

万波 学校給食の鉄や食物繊維の摂取基準が高く設定されているが、食材価格の高騰や消費税増税の影響で、摂取基準が下回っていることが問題になっているのが現状は。実態を保護者に周知すべき。

教育長 小中学校ともに基準を概ね充たしている。保護者に周知する。

万波 「高齢化社会のため」などと言って30年前に導入された消費税。家計消費は減り、実質賃金も伸びず、年金も減額。増税になれば一世帯当たり8万円の負担増となる。低所得者ほど負担が重く、貧困と格差を広げ

一般質問

放射能汚染廃棄物

焼却は危険、中止せよ

本焼却を仙南広域で検討



伊勢 敏

環境省は、焼却炉の排ガス中の煤塵を除去するフィルターで放射能を99・99%除去できると言うが、その根拠は、煤塵粒子数の捕捉率を放射能粒子数の除去率に「すり替えた」論文である。

仙南広域は、排ガスから放射能は不検出と言うが、測定の対象は排ガスではなく、排ガスを通過させた小さなフィルターである。除

去できず大気に放出される煤塵がわずか0・01%でも、粒子数は1m当たり1億個もある。

その中に含まれる放射能及び計測対象にされていない、極めて微小な放射能粒子が何%放出されるかを測定していない。焼却により大気に飛散した放射能を吸い込めば肺の奥に長く滞留し、肺がん等の罹患率が上昇する。

原子力規制委員会の測定によると、原発事故後7年間低下してきた仙南地域の空間線量が試験焼却開始以降上昇に転じ、本町の場合、2018年4〜10月の7か月の平均が0・074μSvに上昇、原発事故以前の約3倍、仙南及び県平均より高い。

チェルノブイリでは原発事故から30年後もがん患者が増加、丸森

町では2016年、子ども1564人のうち2人が甲状腺がんを発症した。

放射線量が事故前の水準に戻ることこそが真の復興であり、焼却は復興に逆行する。

伊勢

仙南広域理事である町長は以上の事実を直視し、焼却の中止を理事会に提案すべきである。

町長

試験焼却による空間線量の大き



放射線量は原発事故前の推計約3倍(1/14、南小)

な変化はないことを踏まえ、仙南広域理事会で本焼却が検討される。

伊勢

地球温暖化抑制への先進的な取り組みは町のブランドに資する。

町民との協働を視野に据え、例えば福田地区の町有地で、営農型ソーラー発電の誘致あ

るいは促進に向けた政策組みの策定に乗り出してはどうか。

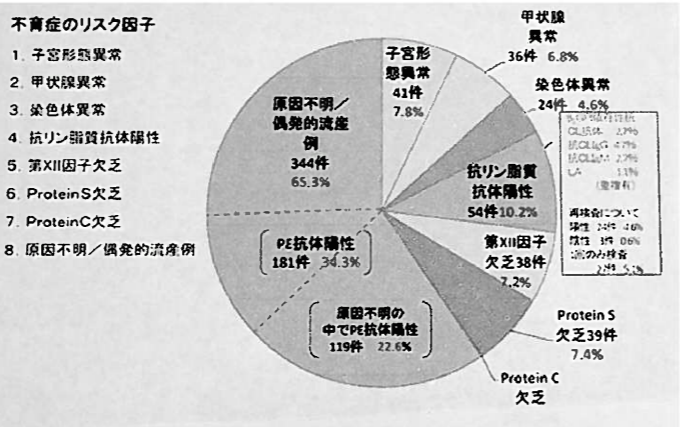
町長

営農型ソーラー発電誘致、促進は考えていない。

周知をはかる

周知と患者の支援を

不育症



高橋 厚生労働省研究班によると、不育症は検査や治療で80%以上の方が出産に辿り着けると言われている。

不妊症と比べ不育症を知らず、一人で悩む人が多い現状である。気軽に相談、窓口体制充実や不育症の治

療費助成制度の必要だ

町長

町としては、母子健康手帳交付などの面接の状況から、過去に流産等の経験があり、不安を感じている方に対し、個別支援などの対応、また町のホームページに相談窓口などを載せるように対応していく。

乳幼児健診で小児がん早期発見を

高橋

わが国では、小児の死亡原因の第1位はがんとなっている。国では、昨年より全国15か所に小児が

ん拠点病院を指定し、質の高い医療提供と相談体制の充実を図っている。

町長

わが町でも、広報や相談窓口の設置等、対応を図るべきだと思っております。

混合介護の周知を

高橋 介護保険制度では、高齢者が抱える様々なニーズに対

応できるように、一定の条件の下での混合介護を認めている。混合介護の運用は、地方自治体間で違いがあることが指摘され、厚生労働省より「介護保険サービスと保険外サービスについて」の通知が发出された。

町長

わが町でも、各方面への周知の徹底を図っていくべきだと思っております。

幅広く有効活用を

防災知識と備えを掲載

大沼 現在更新作業を進めているハザードマップの公表、活用法は。

町長 全戸・町内事業所等へ配布、ホームページ掲載のほ



見える化でより強い意識付けを(山形県大蔵村の事例)

か、小中学校の防災教育教材として活用。

大沼 消防ポンプ小屋等の壁面にハザードマップ、避難所情報掲載できないか。

町長 公共施設内に掲示を予定。その他、人の多く集まる施設に掲示したいと考えている。

大沼 避難行動要支援者保護対策、個別計画作成の進捗は。

町長 地域住民等の協力を得て、避難行動要支援者名簿を効果的に活用し、避難支援や迅速な安否確認等に努める。個別計画は、基となる避難行動要支援者名簿の更新作業中で、ハザードマップ更新後に避難支援等関係者による具体的な調整を行う予定。



大沼 忠弘

大沼 既存の標識が設置してある支柱に追加設置できないか。

町長 建設当初検討したが、補助の対象外で断念した経緯がある。

大沼 地域整備管理者と協議が必要。

大沼 国道4号線に、仙南夜間初期急患センターへの誘導案内看板を設置できないか。

町長 建設当初検討したが、補助の対象外で断念した経緯がある。

大沼 防災スピーカーの増設はできないか。

町長 検討はしたが、携帯メールやテレビ・ラジオからの放送、広報車や自主防災組織の連絡網による周知が有効と考えている。

大沼 急患センターの認知度向上を

町長 検討はしたが、携帯メールやテレビ・ラジオからの放送、広報車や自主防災組織の連絡網による周知が有効と考えている。

大沼 駅前広場で、フリーWiFi利用可の案内看板を立つようにできないか。

町長 分かりやすい目立つ場所への表示を進めたい。

大沼 点字ブロックのエリアを増設できないか。

町長 JRなど、関係機関と協議しながら検討を進めたい。

大沼 急患センターの案内ポスター掲示場所を、商業施設等へも拡大できないか。

町長 来年度ポスターを作製し、商業施設や企業にも掲示を依頼したい。

大沼 駅前広場で、フリーWiFi利用可の案内看板を立つようにできないか。

町長 分かりやすい目立つ場所への表示を進めたい。

大沼 点字ブロックのエリアを増設できないか。

町長 JRなど、関係機関と協議しながら検討を進めたい。

一般質問

駅前設置を

調査・研究をする



枡 和也

各地の自治体で自転車を活かしたまちづくり「レンタサイクル」や「自転車シェアリング」を導入・実施といったところが増えている。都市部では、CO2排出量の削減や人々の健康増進、渋滞緩和、放置自転車対策などへの効果が見込まれ、観光地(街中)周遊に活用されるなど、自転車活用促進法の後押しもあり今後自転車の利用

が進んで行く。大河原町は5キロメートル四方と県南で一番コンパクトな町で、ほぼ平坦な土地であり自転車での移動・散策に適した環境と言える。

枡 合同庁舎をはじめ法務局等官公庁関係、仙南免許センター、県南中核病院等

多くの町外の方も利用する施設が多数存在している。駅から各施設まで手軽にいつでも移動できる、そして街中周遊手段として大河原駅を拠点としたレンタサイクル事業を立ち上げる考えはないか。

町長 あらゆる機能がまわっている本町は、自転車による移動・散策に適した環境と言える。現在進めている白

石川右岸河川敷整備の検討の中にあるサイクリングロードとともに、レンタサイクルの運営や管理、財源なども含め、実現可否の判断をするための調査・研究をしていく。

枡 白石川右岸関連サイクリングロード等の大きな計画を待っていたのでは、い



環境・観光・健康に役(写真は「みちのく杜の湖畔公園」)

つことになるかわからない。駅の駐輪場の空いているところを利用して、試験的に実施してみてもどうか。

町長 可否を判断するのに色々テスト

をしてみることも大切だ。空いている駐輪場を今後どのように活用していくのかも含め、議論をしていく。



積極的に活用すべき

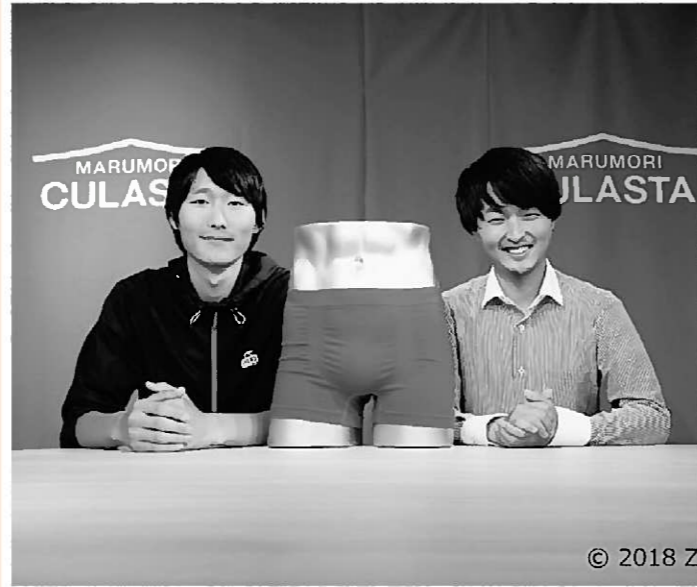
受入先があれば検討



高橋 豊

「地域おこし協力隊」とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動した者を、地方公共団体が

隊員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従



丸森町に結成された地域おこし協力隊

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

員として委嘱。一定期間地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発、地域おこし支援や農林水産業に従

平成23年12月の一般質問「AED(自動体外式助動器)の設置状況について」でも質問しましたが、AEDは救命活動の際には必需品として欠かせないアイテムとなっている。近年設置してあるところを見かける場面が多くなっている。しかし、人が倒れたり、倒れている人に出会った時などの緊急時に、講習などを受けて

いなければ、人工呼吸や心臓マッサージなどは誰でも普通にできるものでもなく、講習などを受けていないと出来るものではない。
丸山 町内でAEDが公共施設を中心になら設置場所があるが、設置場所の周知は十分なされているか。
町長 民間のホームページで周知しているが、十分ではない。

現在作成中の防災マップと町のホームページに掲載し、周知を図りたい。
丸山 前回の一般質問でも言ったが、町職員は救命講習を受けるべきではないか。受講状況はどうか。
町長 町職員196名中、約6割の119人が受けている。今後も講習会を開催し、受講者を増やしたい。

各学校での救命講習の状況はどうか。
丸山 小中学校では毎年、水泳指導が始まる前に、教員全員に救命講習を実施している。金ヶ瀬中学校では2年生全員を対象に、救命講習を実施している。大河原中学校では、希望者のみに実施している。
丸山 大河原中学校でも希望者だけで



さらなる受講を(町職員対象の救命講習)

なく、全員に実施するべきではないか。また、小学校高学年児童を対象にした講習もあるようなので、命の大切さを教えるためにも講習を実施してはどうか。
教育長 各学校と協議しながら検討したい。

講習会を開催し、受講者を増やす

一般質問

AED

町職員へ救命講習を



丸山 勝利

一般質問

大河原公園

大規模再整備が必要



佐久間克明

早期に方向性を検討

ただいている。

佐久間 平成5年から整備され、平成17年には償還している。

町長 20年以上経過しており、ニーズに合わせて改修が必要と考える。

地域整備 老朽化状況からも全体見直しが必要と認識している。設計者の意思、町予算もあり今後検討したい。

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

町長 アンケートやワークショップの中で「魅力がない」「不便である」といった再整備が必要と感じている多数のご意見をい

い。左岸の観光スポーツ作りも考えたい。同時に国へも働きかけたのか。

町長 協会の体制は臨時職員雇用となっており、法人化へ向け規則作り等の環境整備が必要となる。会員拡大や事業拡大を図る面でも、職員待遇改善が必要であることから、法人化に最大限のバックアップが必要と考える。



子どもたちがもっと遊べる環境を

給食費の一部助成を

支援の仕方は検討課題



よく食べ、よく学ぶ子どもたち

学校給食について、「栄養不足」と報道された。学校給食は、健全な成長に欠かす事のできない役割を担っ

ている。本町の学校給食は児童、生徒に十分な栄養量が行き届いているのか。

秋山 児童生徒に必要な「摂取基準」は充たされているのか。

教育長 国が目標値として定めた摂取基準に基づき、給食センターが創意工夫を図り、提供している。

秋山 将来、増税で賄い材料が高騰すると見ている。今後の対応として、生産者より直接副食となる材料を購入する考えは、過去の時期もあったと伺っている。

秋山 現在の給食費は、必要な栄養を補うために適当な金額か。

町長 私なりに調べたが、小中ともに給食費を無償としている自治体は4.4%で、いずれも生徒数の少ない自治体である。

秋山 将来、本町で子育て支援の施策として、保護者に思いやり策として、無償化は無理であろうから、一般財源より公費の一部を支出して、10円でも値下げの考えはないか。

町長 今後、将来に向けて、無償化は難しいが、支援の仕方は検討の余地があると思う。

町長 現在、小学校285円、中学校330円となっており、概ね基準を満たす適切な金額と考えている。

秋山 給食費に対して町などに苦情はなかったか。

町長 今現在、そのような苦情は寄せられていない。

秋山 隣接町の給食に対して、いろいろな給食に対する助成があると同ったが、いかがか。

町長 私なりに調べたが、小中ともに給食費を無償としている自治体は4.4%で、いずれも生徒数の少ない自治体である。

町長 現在、小学校285円、中学校330円となっており、概ね基準を満たす適切な金額と考えている。

秋山 給食費に対して町などに苦情はなかったか。

町長 今現在、そのような苦情は寄せられていない。

学校給食



秋山 昇

小学6年生 初めての議会傍聴



12月11日・12日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生全員が、本会議場での一般質問を傍聴しました。町執行部と議員の議論に緊張した表情で聞き入り、真剣な様子でメモを取っていました。感想を寄せていただきましたので、一部を紹介します。

大河原小学校
議会の大切さがよく分かりました。議会は市や町の予算や税金を決めること、条例を制定、改正、廃止することなど今の町に大きく関わることを決めていて驚きました。

大河原南小学校
議会ではすごく大河原町のことを考えてくれているところを発見しました。大河原町のいろいろなことを新しくしていこうというのが多かったのですごくいいと思いました。

大河原小学校
ぼくは、議会を見学してはく力があってすごいなと思いました。夜間急患センターの看板の設置やフリーWi-Fiなど議員さんの質問は大河原町のためになりたい、役に立ちたいという思いが伝わってきました。

大河原南小学校
みなさんがすごく大河原町のことを考えて働いていたり、会議しているのがつたわりました。Wi-Fiのことやふるさと納税の返礼品そしてセンダイヨシノがある大河原南公園のことをもっと良くしようと思って会議しているのがすごくつたわりました。

大河原小学校
「オータムフェスティバル」の話では、話の流れが速くてとても尊敬しました。豊かな町をつくるためにたくさんのイベントをした方がいいと思いました。これからは町の不安をなくすために、わたしたちができることを進んでしていきたいと思いました。

金ヶ瀬小学校
みんな資料を見ながら話を聞き、メモしていた。話し合いに適しているものがたくさんそろって話し合いがしやすそうだった。ぎちょうさんの話の進め方もあるが、参加している人みんながしっかり話を聞いていて、話の進め方がスムーズでいいと思った。

大河原小学校
わたしは議会では、町民で出した意見を議員さんたちが話し合い、今の大河原が成り立っていると知りました。議会の会場に入った時、別世界のようにとても静かで真剣に話し合っていました。学校でも議会のことは学習しましたが、見学して新しい発見やしくみをもっと知ることができました。

大河原小学校
実際に行ってみると緊張感があり、真剣に取り組んでいて、こんなに町のことを考えてくれているんだと心に伝わってきました。議会で学んだことをこれからの学習に生かしていきたいです。

大河原小学校
事前に勉強していて、どんな話をしているんだろう、どのように決めているんだろうと疑問ばかりでした。実際に行ってみると学校とは違って緊張感があり、私たちの生活のために話し合っているんだと改めて思いました。

金ヶ瀬小学校
女川の原発について、私は反対です。なぜかという、女川原発はあぶない、怖いと思う印象をもっているのに、再稼働してしまったら、怖くて安心して暮らせないので、このままストップして、1番安心な方法を考えてもらったほうが良いなと思いました。

大河原小学校
僕は議会を見学して大河原はたくさんの改善点があり、議会議員がどのように改善していくかを全員で考えていると感じました。たくさんある質問を一つ一つ丁寧に解決していったところが、とても心に残りました。僕も大河原町のことを真剣に考えようと思いました。

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

委員会活動

総務産業常任委員会

- シルバー人材センター
- 現在会員200名登録しており請負契約のほか、近年は企業派遣が多くなっている。
- 4月からは旧検察庁に移転予定。事務スペースが広くなり事務所内で会議ができるので、より効率的になる。
- 町有地（福田地区）
- 昭和58年3月30日西部総合運動公園用地として、（株）太平洋クラブ他1社から20万7260㎡を約1億6373万円で取得。
- 平成26年11月に当敷地を借用しメガソーラーを設置する提案があったが、採算性の観点

から白紙になった。

課題

● 現状は手が入っていない状況なので、民間会社等でも利用ができる場所があれば賃貸や売却も考えたい。



地方創生における官民連携事業について

- （株）七十七銀行ほか2金融機関及び東北財務局と包括連携協定を結んでおり、地域活性化、地方創生及び地域価値の向上を図る目的で締結された。
- 今後、行政のクラウドファンディングやベンチャーファンドの可

能性について模索する。

文教厚生常任委員会

昆虫標本収蔵室（旧地方検察庁跡地）の管理状況

● 収蔵室に収められている昆虫標本はすべて故渡辺徳氏より寄贈されたものであり、日本・外国の昆虫12万9984頭分の標本が、収蔵室に区分して展示されている。

● 中央公民館他、学校や公的イベントに貸し出している。今後、町内外に昆虫標本を発信して町づくりの活性化につなげたい。



ファミリーサポートセンター事業

● 平成29年10月より活動を開始した。活動の状況は、保護者の用事時等の預かり、兄弟の授業参観時の小さい子供の預かり、保育施設への送迎となっている。

● 料金は1時間あたり600円、土日祝日は700円。

課題

● この事業を必要とする若い世代の町民に浸透するよう広報の工夫が必要である。

視察研修

議会広報常任委員会

11月5日から6日にかけて議会広報の企画・編集について視察研修を行った。

山形県庄内町議会

平成24年度全国広報コンクールで最優秀賞ほか多数受賞。編集方針は「難しいことをや

さしく、やさしいことを深く、深いことをゆかいに、ゆかいなことを真面目に書く一見出しを重視し、小学校5年生でも読めて、理解できるように心がけている。

山形県川西町議会
平成26年・27年度全国広報コンクールで最優秀賞ほか多数受賞。議会と町民が一体となった議会だよりづくりを目指し、町民に広報モニターと広報アドバイザーを委嘱して、紙面づくりをしている。



全国大会出場助成



解決

大河原公園改修



未解決

提言

東北大会、全国大会出場時は、交通費だけでなく宿泊費等も町で助成すべき。

提言

大河原公園多目的広場をさらに利用しやすいように改修すべき。

議員の提言
(一般質問)
平成27年6月

平成30年
8月現在

追跡結果

平成30年8月全国中学校体育大会、平成30年12月科学の甲子園ジュニア大会に出場した生徒に交通費、宿泊費、全国大会参加費等の全額が町から助成された。

議員の提言
(一般質問)
平成29年3月
平成29年6月
平成30年12月

平成30年
12月現在

追跡結果

設計者と協議はしているものの、著作権等の問題があり、現実的にはなかなか話が進んでいない状況にある。

3月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか

招集日 3月5日(火)・再開日 3月11日(月)

手続きは必要ありません。詳細は議会事務局まで ☎53-2800



大河原小学校
黒田 千裕さん

私の住みたいと思う町は、月に一回何かイベントのある楽しい町です。

大河原町は、季節ごとに、イベントはありますが、そのイベントに行きたくても行けない人だっていると思うので、春の間に何回か、夏の間に何回かと、行きたい人が全て行けるようにしたいです。そして、月に一回イベントをして、町の人々がいつも笑っている笑顔の町、楽しい町に住みたいです。



大河原小学校
半澤 歩夢さん

ぼくが、住みたいなと思う町は、たくさんの方が集まる元気な町です。それは、ぼくの大好きなスポーツショップや、大人から子供までが遊べる大きな公園、疲れた体がいやす温泉や宿があり、住んでいる人達だけでなくほかの町からもたくさんの人達が集まる町です。そして、ほかの町などから来た人達と、大河原の町に住んでいる人達が、コミュニケーションを取り仲良く過ごせる、そういう町に、ぼくは住みたいです。

がんばっている子どもたち

祝 科学の甲子園ジュニア全国大会第4位



平成30年12月に茨城県つくば市を会場に大会が行われました。全国の中学生が都道府県を代表して、理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組み、科学の思考力・技能を競う大会です。

右：千葉 海斗さん（大中2年）
中：鈴木 優依さん（大中2年）
左：佐々木裕平さん（大中2年）

今回の表紙は

金ヶ瀬小学校始業式の日の登校風景です。両手にたくさんの荷物を抱え、白い息を吐きながら元気に登校していました。

登校後、校庭で仲良く遊ぶ姿も印象的でした。（須藤 慎）



第149号に誤りがありました。20ページ誤：古川 愛梨奈さん 正：古山 愛梨奈さん お詫びして訂正いたします。

編集後記

平成があと3か月で終わりを迎えます。身のまわりの物が格段に便利になり、体感する時間のスピードも一層早くなりました。一方で、これまで軽視してきた課題に対し早急な対応が迫られる時でもあります。

当委員会では、これまで研修し、学んできたことを今回の誌面に反映させました。より見やすい議会だよりは、町政に関心を持っていただくことに直結すると考えています。（佐久間克明）

編集発行責任者 議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 委員長 佐久間克明
副委員長 須藤 慎
委員 万波 孝子
大沼 忠弘
伊勢 敏
高橋 豊